
偶然とキセキの違い

みいか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

偶然とキセキの違い

【Nコード】

N3007E

【作者名】

みいか

【あらすじ】

いつも眼鏡に二つくりの代表的地味女、サユリが、ある日昔ある約束をした少年と再会したことで…

1シーン：終礼

「放課後図書委員のやつは本の整理、それからカード作ってもらってから、ちよつと残れなー」

「えー！ー!?」

不満げな声が教室に響く。

全く…。

その声の主は、クラスで1番のバカ男。

火山が噴火を起こしたような髪の毛をさらにぐしゃぐしゃと乱している。(そのどろどろがいいのかサユリにはわからないが…)

「せんせー。それってえ、絶対ッすかあ」

「当たり前だろー。お前から図書はいったんだからそれくらいやれー？」

先生はだるそうに出席簿を眺めながら、そいつに応じた。

「残念だなあ、秀二ー！。今日の合コンはお前抜きでやつから！！
安心しろー」

バカ仲間（サユリの中での呼び名）の一人がこう言うと、クラスが
笑いに包まれた。

くだらん…。

サユリはかばんを机の上に置き、おもむろに本を取り出す。

こうすればかばんで見えないから、本が自由に読めるのだ。

こんな終礼、聞いてるなんてくだらないし、はっきり言ってムダだ。

懇願するような視線を感じたが、無視。

前の続きはっと…。

しおりを抜き取ると、サユリは一人だけの世界へ入っていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3007e/>

偶然とキセキの違い

2010年10月10日03時27分発行